© tai111 - Fotolia.com

「介護離職ゼロ」の実現に向けて

安倍政権の掲げる「一億総活躍社会」実現へ向けての3本柱の一つ「介護離職ゼロ」。不本意な「介護離職」をなくしていくため、企業や介護事業者等はどのような取り組みを行っているのでしょうか。

12 小規模多機能型居宅介護事業所 ユアハウス弥生（介護事業）

家族会と訪問で悩みや問題を早期発見・解決

株式会社ケアワーク弥生運営の小規模多機能型居宅介護事業所「ユアハウス弥生」では、介護者へのフォローやコミュニケーションに力を入れています。年に3回開催している家族会の内容は介護者に事前にアンケートをとり計画。また、月に一度は介護者のもとを訪問し、積極的に関わりを持つことで、問題の早期発見・早期解決に努めています。

協力と理解を得るため介護者との関係を重視

東京都文京区弥生町に位置する、株式会社ケアワーク弥生の小規模多機能型居宅介護事業所「ユアハウス弥生」では、利用者はもちろん、介護者とのコミュニケーションも大切にしています。

同事業所は「本人の選択に基づいて、自分らしく生きるために、広いこころとあたたかい行動、根拠を持って応援し続ける」ことを理念に掲げ、可能な限り自宅での生活が継続できるように、通い・宿泊・訪問のサービスを組み合わせて支援しています。現在、26人の利用登録者を34人の職員でサポートしています。

「当事業所では、利用者のやりたいことにとことん寄り添うことを大切にしています。利用者の希望をかなえるためには、介護者の協力と理解が不可欠です。そこで、私たちは介護者とのコミュニケーションにも重点をおき、家族会や訪問を展開しています」と、職員の森近恵梨子さんは説明します。

介護者とコミュニケーションをとることで、利用者の様子や生活歴を共有でき、ケアの向上にもつなげられます。また、必要に応じて介護者のケアもできます。介護の方法で悩んでいる人や、プライベートや仕事との両立に悩んでいる人などの相談にも応えています。

ニーズに応じた家族会を年3回開催

ユアハウス弥生は介護者との信頼・協力関係を構築するため、2010年に「家族会」をスタートさせました。介護者と事業所の職員、または介護者同士の交流を目的として、年3回のペースで開催しています。

これまで、家族会で行ってきた取り組みは「事業所が目指しているケア・理念の共有」「介護保険制度改正に伴う説明会」「認知症に関する勉強会・グループディスカッション」「利用者を交えての飲み会」などです。しかし、だんだんと参加人数が減少してきたので、2016年、家族会の内容の見直しを行いました。

ユアハウス弥生の職員の岩瀬良子さん、森近恵梨子さん、石塚詩織さん

見直しにあたっては、まず家族会のあり方について、介護者にアンケートを実施。回答として多かったのは、「一対一での相談会」や事業所での利用者の日常を撮影した「写真展」を希望する声です。家族同士の交流（いわゆるピアカウンセリング）よりも、個別的な対応や、特定の1日よりも都合のつけやすさが望まれる結果となりました。そうした声を受けて、年3回のうちの1回を『参観型』と称して、利用者の事業所での様子を見てもらいながら、介護者の相談を受けることにしました。開催期間に一週間の幅を持たせたことで、遠方に住む介護者も来訪でき、参加人数は増加。

当日、介護者からは、「トイレにどうすればうまく座ってくれるのか」など日常の介護の方法や「要介護度が上がった場合への不安」などについて相談がありました。

介助方法に関しては、「職員の介助を実際に見てもらい、体の使い方など、介護者が楽なやり方を提案しました」と、職員の石塚詩織さん。また、同事業所では、在宅医や薬局と協力して支える体制であることや、これまで利用者を看取った経験があることなどを説明し、要介護度が上がった場合の支援についても話しました。

参加した介護者からは、「介護の方法に悩んでいたが、介護してもらっている様子を見て学ぶことができた」や「母の笑顔が見られて預けていいんだと思い安心した」などの好意的な声が寄せられています。

担当者が各家庭を訪問し各種相談などに対応

家族会とは別に、ユアハウス弥生では月1回、各利用者の介護者のもとを訪問しています。利用者ごとに担当者を決めており、介護者へのフォローや支援を行っているのです。遠方の介護者についても担当が決まっており、電話等でのきめ細やかな相談に努めています。

訪問時には、担当者は聞き役に回ります。介護者からは、介護の方法はもちろん、食事のことや経済的な問題の相談、家族の近況等の話が多く出るとのことです。

「仕事や趣味の時間を確保するため、スケジュールの調整を相談されることも多いです。訪問し話を聞くなかで、当初予定していなかった通院の同行をお願いされたこともありました」と、森近さんは話します。訪問により関係を築けたことで、介護者が相談をしやすくなり、同事業所側はこれまでよりも介護者と協調したサービス提案ができるようになっています。

このように、同事業所は、家族会や訪問を通じて、問題の早期発見・解決を図り、介護者の生活と介護の両立を支援しています。また、相談できる場所や人の存在を認識してもらうことで、「自分一人で介護している」という介護者の負担感の軽減に尽力しています。

介護と仕事などの自身の生活を両立し、看取ることができた介護者からは、「最期まで一緒に介護をして、諦めないでよかった」と言われたこともあるそうです。

「『介護離職』が問題となっている今、介護者と介護事業所の職員がコミュニケーションを図り、介護に対する苦労ややりがいを共有することは重要です。家族会や訪問などは効果がある取り組みなので、多くの介護事業所でも行ってほしい」と、森近さんは期待を込めます。

株式会社ケアワーク ユアハウス弥生

設立：2006年
所在地：東京都文京区弥生2-16-3
TEL：03-5840-8652
提供サービス：小規模多機能型居宅介護
従業員数：34人

家族会を通じて、スタッフとの信頼関係を強化。介護者も安心を得ている

家族からの希望が多かった、写真展も開催。見に来た後、購入していく人もいた